

全国学力・学習状況調査とは

○調査の目的

- ・児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・義務教育の機会均等とその水準の継続向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○調査の対象とする児童生徒

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

○教科に関する調査

〔国語、算数・数学〕

○調査事項

◇国語、算数・数学について

【主として「知識」に関する問題→A問題】

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

【主として「活用」に関する問題→B問題】

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

【質問紙調査】

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

小学校国語の成果と課題

【国語A】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすること。
 - ・漢字を読む（例 省く → はぶく）
 - ・漢字を書く（例 そうだん → 相談）
- △ ローマ字を正しく書いたり読んだりすること。
 - ・ローマ字を書く（例 あさって → asatte）
 - ・ローマ字を読む（例 hyaku → ひゃく）

【国語B】

- 目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書くこと。
- △ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。

小学校算数の成果と課題

【算数A】

- 全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解していること。
- △ 図形の構成要素に着目して、図形を構成すること。

【算数B】

- ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めること。
- △ グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述すること。

平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

中学校国語の成果と課題

【国語 A】

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えたり、文章の構成や展開について自分の考えをもったりすること。
- △ 文の成分の照応について理解すること。

【国語 B】

- 文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くこと。
- △ 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと。

中学校数学の成果と課題

【数学 A】

- 円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解していること。
- △ 平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めること。

【数学 B】

- 与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現すること。
- △ 筋道を立てて考え、証明すること。

平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<小学校:教科に関する現状>

○各分野ごとの問題の領域

各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

国語A・Bの各領域

- ・「話すこと・聞くこと」 ・「書くこと」
- ・「読むこと」 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

算数A・Bの各領域

- ・「数と計算」 ・「量と測定」
- ・「図形」 ・「数量関係」

○問題形式

選択式、短答式、記述式の3種類の問題が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で成果が見られる。
- 算数A・Bとも「数量関係」領域に高い成果が見られる。
- △ 国語Bの「書くこと」の領域で課題が見られる。
- △ 算数A・Bとも「図形」領域に課題が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

- 国語A・Bとも各問題形式は、全国と比較して同程度である。
- 算数A・Bとも「短答式」の問題に成果が見られる。
- △ 算数Bの「記述式」の問題に課題が見られる。

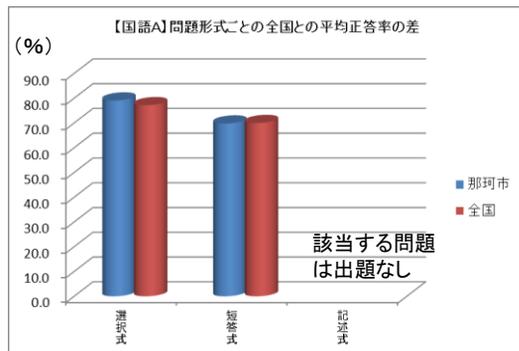
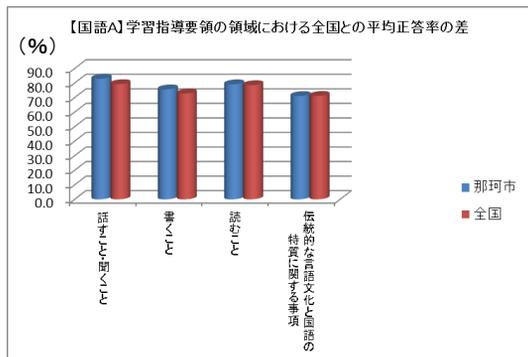
平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<小学校:教科に関する現状>

小学校

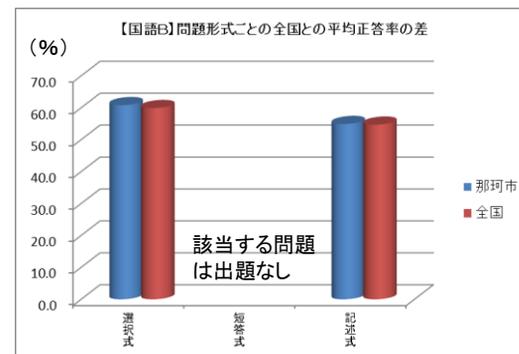
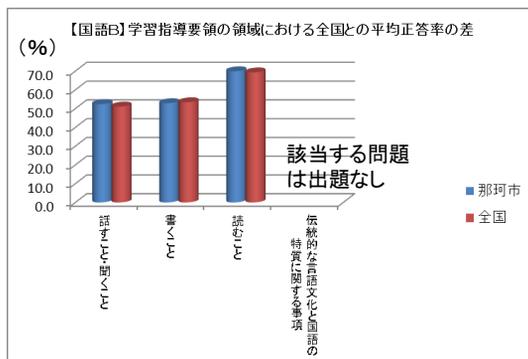
国語A

(設問数15問)



国語B

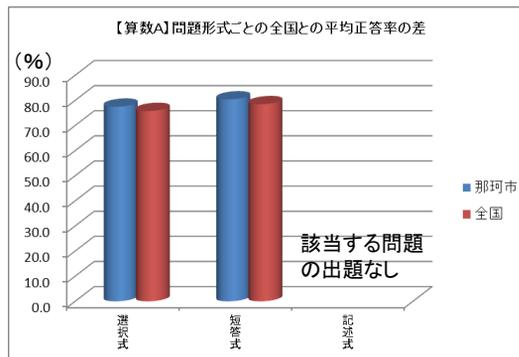
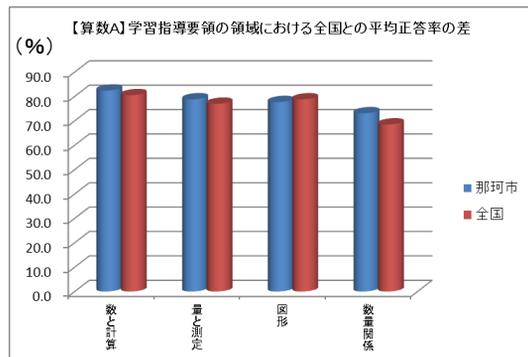
(設問数10問)



小学校

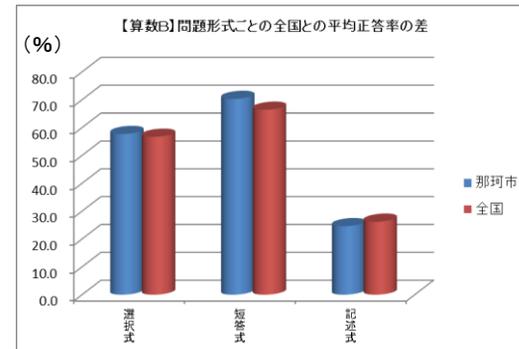
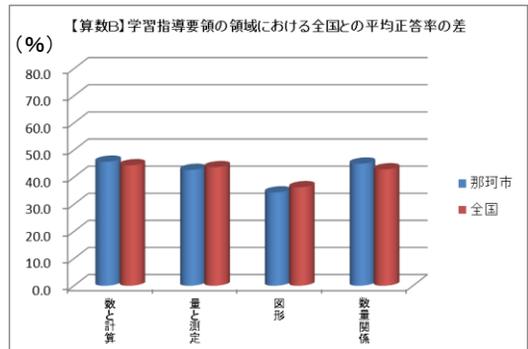
算数A

(設問数16問)



算数B

(設問数13問)



【参考】

実際の問題は、
 国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/16chousa/16mondai.htm> をご覧ください。

平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

○各分野ごとの問題の領域

各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

国語A・Bの各領域

- ・「話すこと・聞くこと」 ・「書くこと」
- ・「読むこと」 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

数学A・Bの各領域

- ・「数と式」 ・「図形」
- ・「関数」 ・「資料の活用」

○問題形式

選択式、短答式、記述式の3種類の問題が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語Aの「読むこと」の領域で成果が見られる。
- 数学Bの「資料の活用」領域に高い成果が見られる。
- △ 数学Bの「図形」領域に課題が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

- 国語A・Bとも各問題形式は、全国と比較して同程度である。
- △ 数学Bの「選択式」「記述式」の問題に課題が見られる。

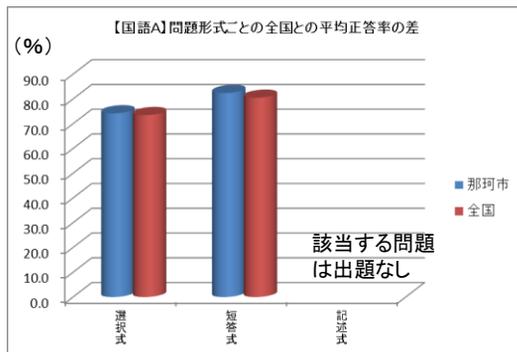
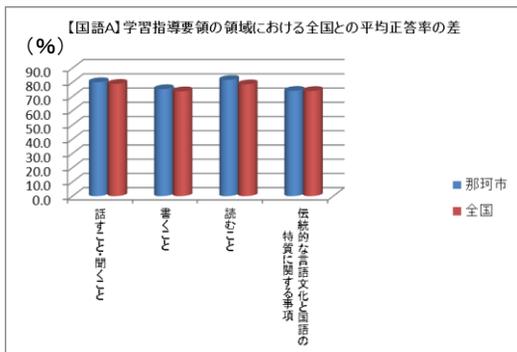
平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

中学校

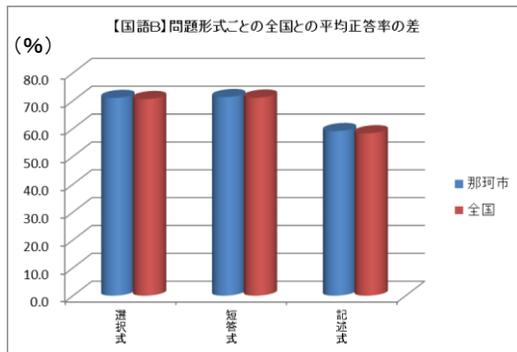
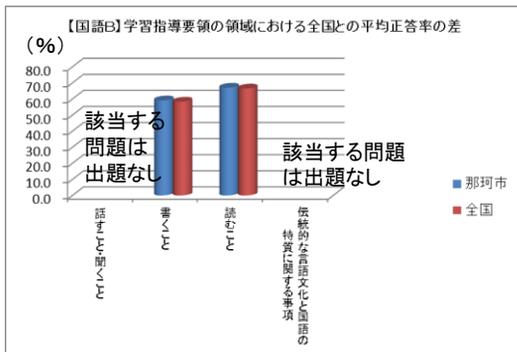
国語A

(設問数33問)



国語B

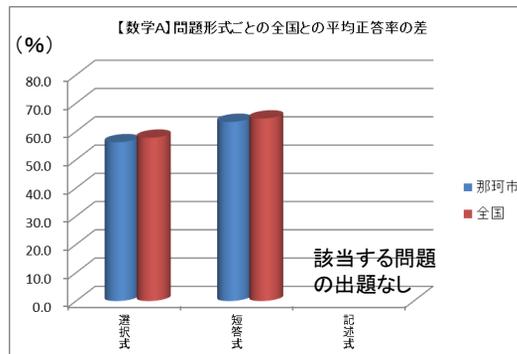
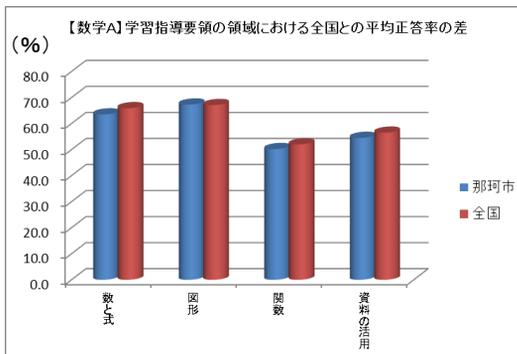
(設問数9問)



中学校

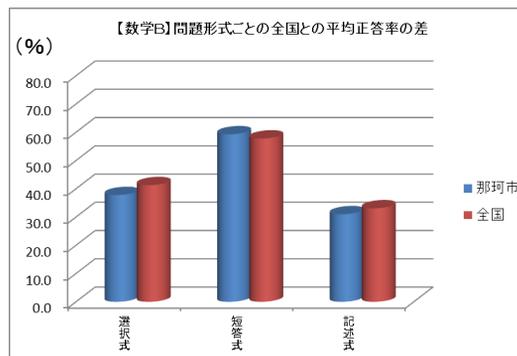
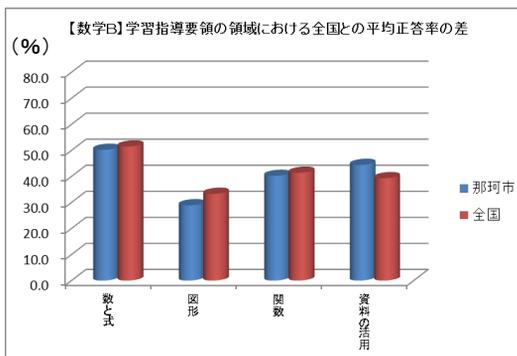
数学A

(設問数36問)



数学B

(設問数15問)



【参考】

実際の問題は、
 国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/16chousa/16mondai.htm> をご覧ください。

平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年490人、中学3年471人】>

平成28年度 基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえばしている」の割合(%)で比較。

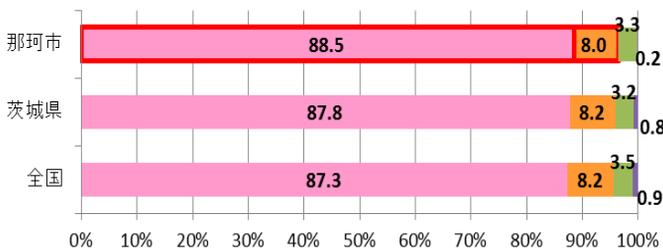
小学校

中学校

◇ 「朝食を毎日食べていますか」については、全国と比較すると、小中学校とも同程度の傾向が見られる。

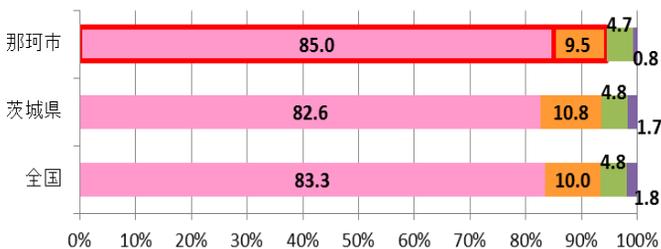
Q: 朝食を毎日食べていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 朝食を毎日食べていますか

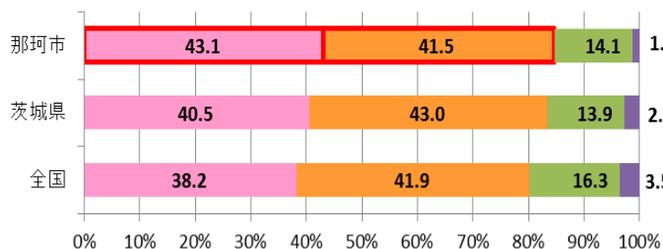
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」については、全国と比較すると、小中学校ともやや高い傾向が見られる。

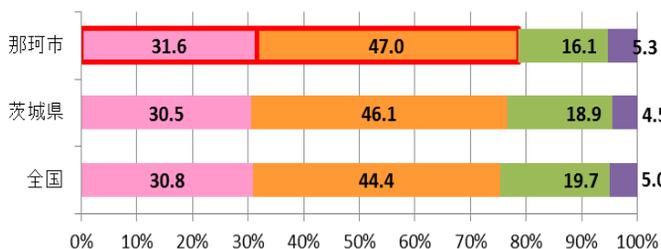
Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

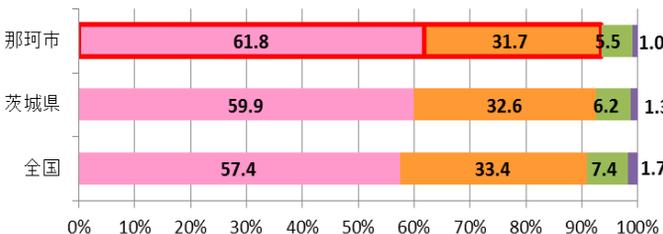
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、全国と比較すると、小学校はやや高い傾向、中学校は同程度の傾向が見られる。

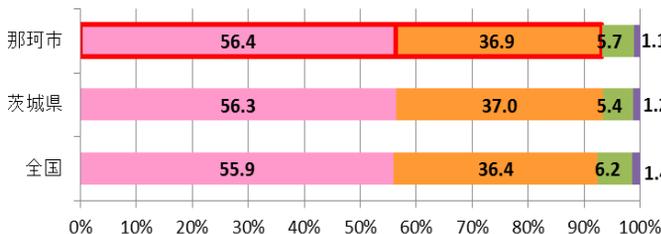
Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年490人、中学3年471人】>

平成28年度 自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえばしている」の割合(%)で比較。

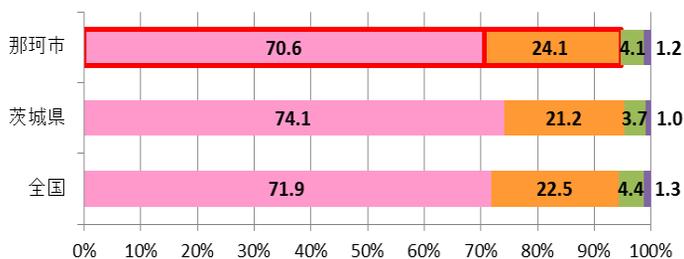
小学校

中学校

◇ 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」については、全国と比較すると、小中学校とも同程度の傾向が見られる。

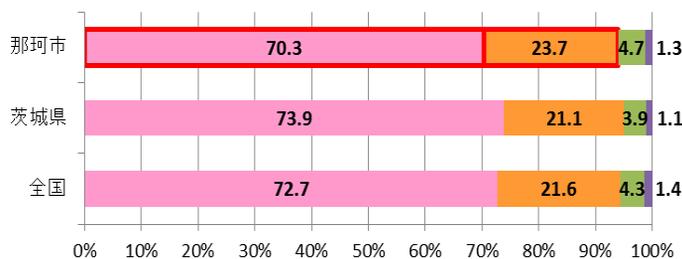
Q:ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

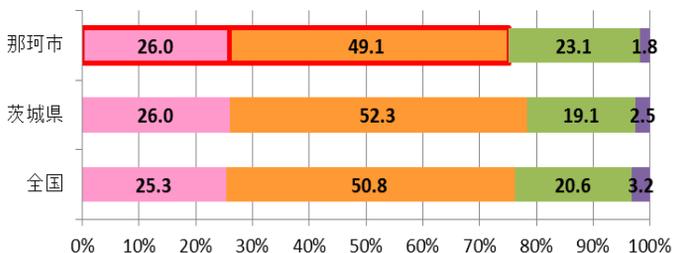
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇ 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」については、全国と比較すると、小学校では同程度の傾向、中学校ではやや低い傾向が見られる。

Q:難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

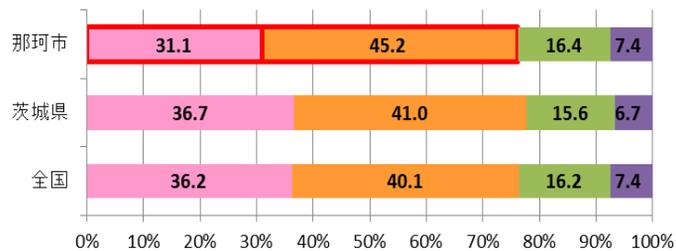
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇ 「自分には、よいところがあると思いますか」については、全国と比較すると、小学校は同程度の傾向、中学校は低い傾向が見られる。

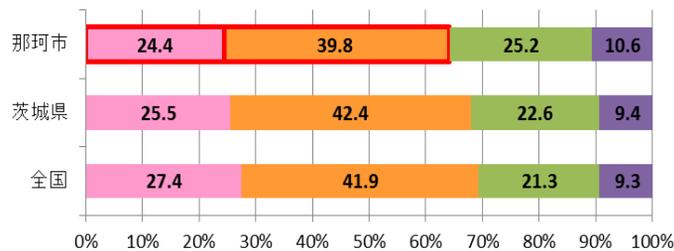
Q:自分にはよいところがあると思いますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:自分にはよいところがあると思いますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年490人、中学3年471人】>

平成28年度 家庭学習における全国との比較(参考:茨城県)No. 1

※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

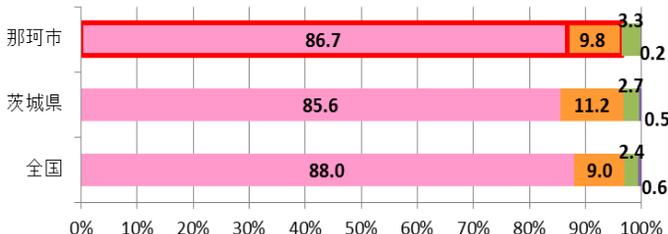
小学校

中学校

◇ 「家で、学校の宿題をしていますか」については、全国と比較すると、小中学校とも同程度の傾向が見られる。

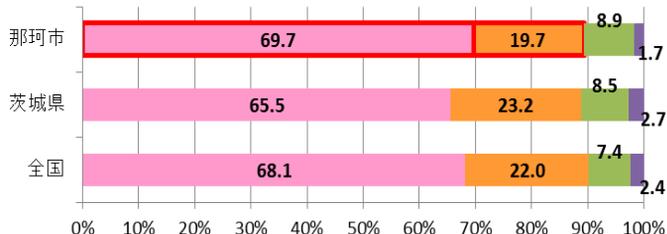
Q:家で、学校の宿題をしていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q:家で、学校の宿題をしていますか

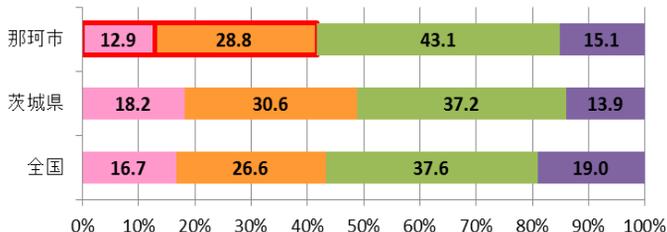
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「家で、学校の授業の予習をしていますか」については、全国と比較すると、小学校では同程度の傾向、中学校ではやや低い傾向が見られる。

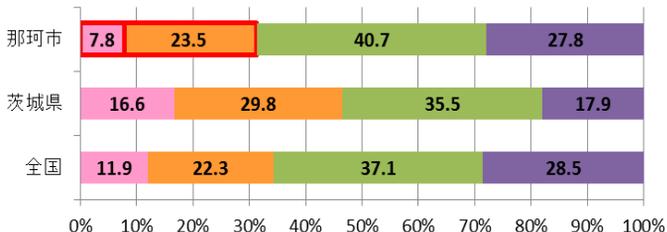
Q:家で、学校の予習をしていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q:家で、学校の予習をしていますか

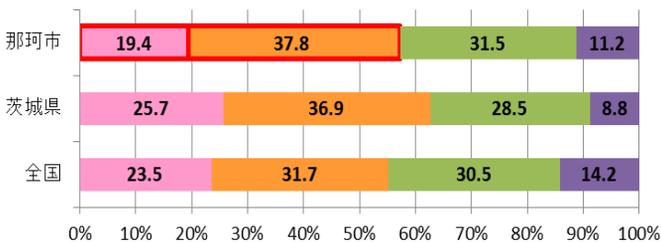
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「家で、学校の授業の復習をしていますか」については、全国と比較すると、小学校では同程度の傾向、中学校ではかなり高い傾向が見られる。

Q:家で、学校の復習をしていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q:家で、学校の復習をしていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

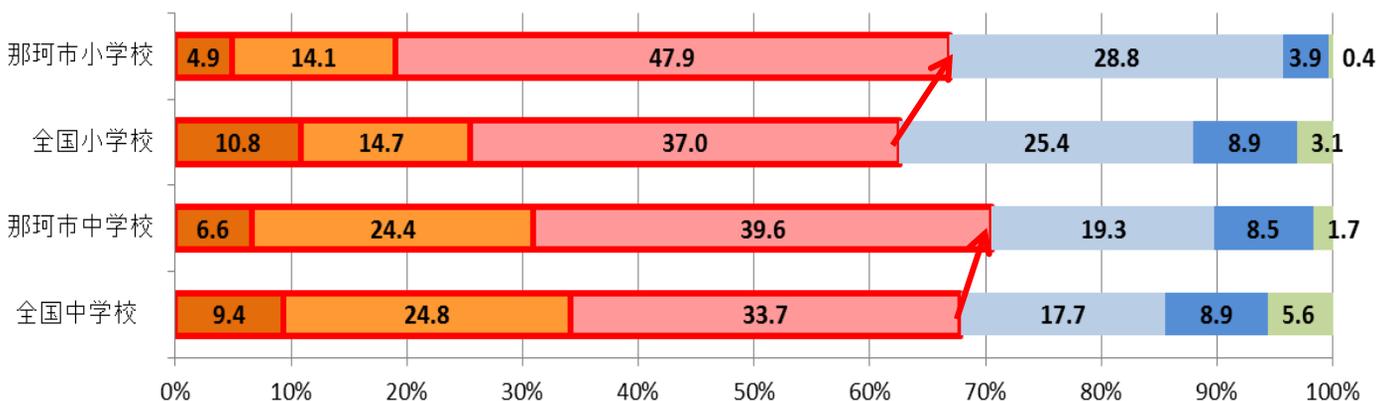
<児童生徒質問紙に関する現状>

平成28年度 家庭学習における全国との比較 No. 2

◇ 「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」について、全国と比較(1時間以上)すると、小中学校ともやや高い傾向が見られる。

Q: 学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

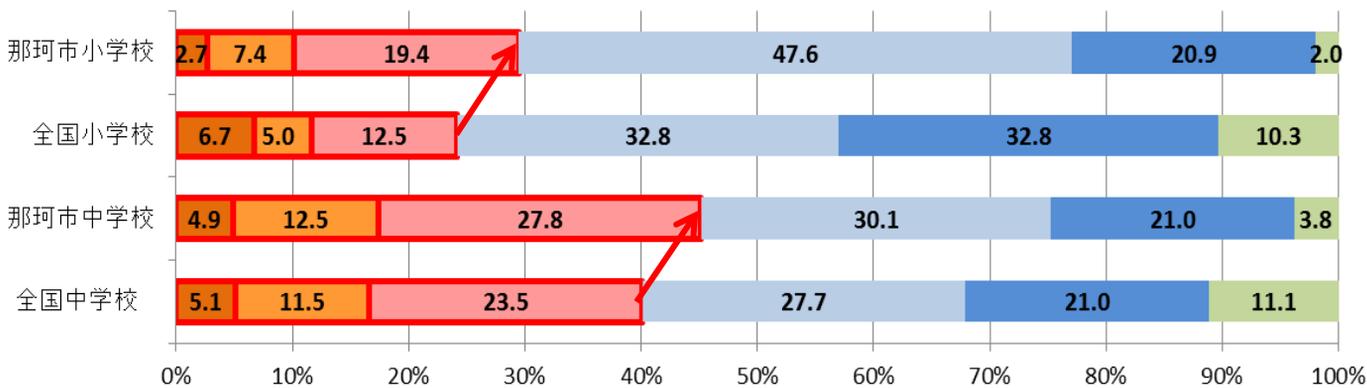
■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない



◇ 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」について、全国と比較(2時間以上)すると、小中学校とも高い傾向が見られる。

Q: 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

■ 4時間以上 ■ 3時間以上、4時間より少ない ■ 2時間以上、3時間より少ない
■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 1時間より少ない ■ 全くしない



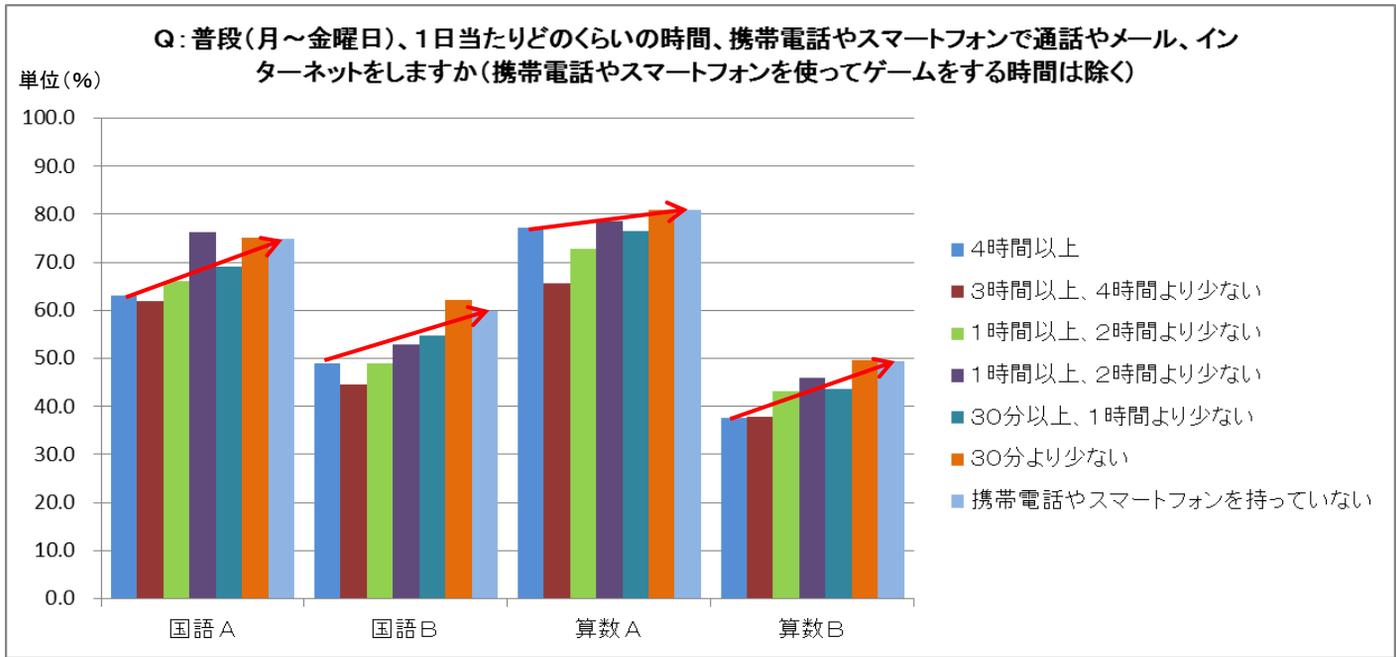
平成28年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状>

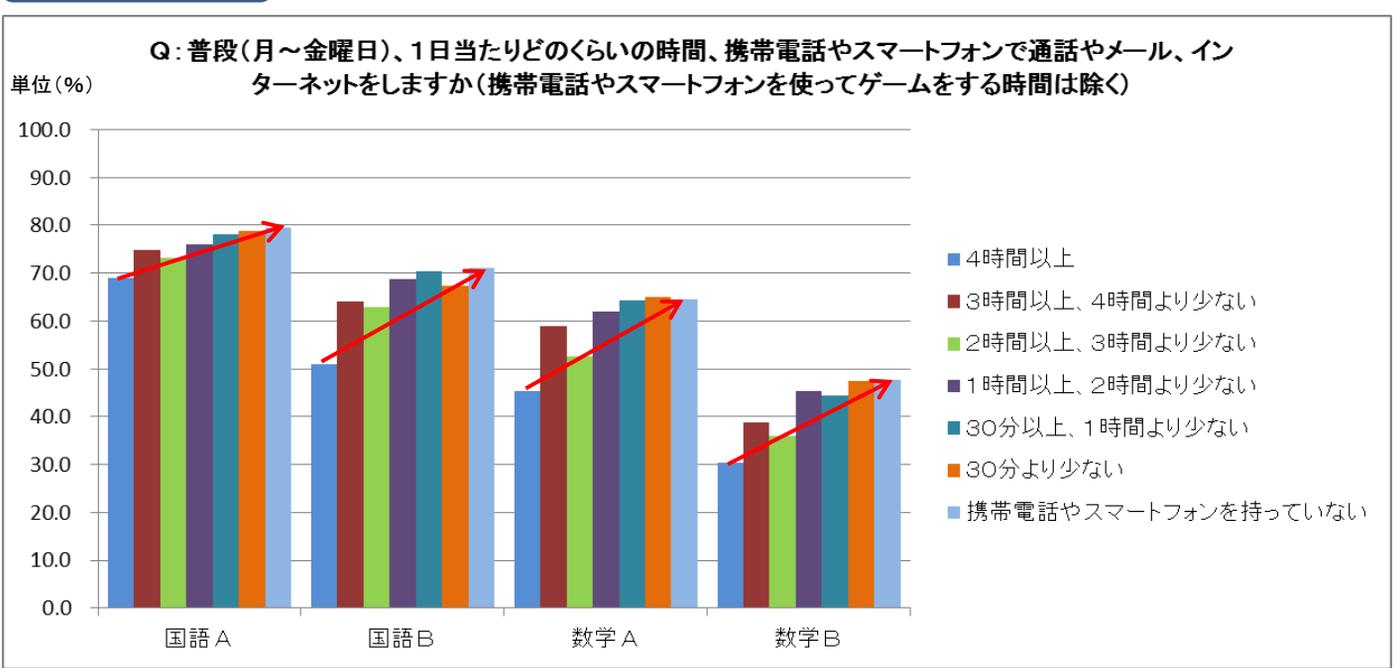
メディアと平均正答率(各分野)との関係

◇ 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い児童生徒や持っていない児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

小学校



中学校



結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が「授業」で継続して取り組んでほしいこと

- ・全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較し、自校の課題を明確にし、授業改善を行う。
- ・特に、設問別の分析を行い、課題となった設問の改善に焦点化した授業に取り組む。
- ・タブレットなどのICT機器を活用した授業を実践し、児童生徒の主体的に取り組む意欲を引き出す。
- ・授業の冒頭でねらいを明確にする活動、授業の最後に学習したことを振り返る活動を通して、児童生徒一人一人が授業で学習した内容を確認できるようにする。
- ・ペアや小集団による話し合い活動などを設定し、児童生徒が主体となって活動できるようにする。
- ・文部科学省が示している「授業アイデア例」を参考に、授業を構想する。
- ・「学びのデザイン」「学習の手引き」の日常化を図り、児童生徒の学びをつなげ、向上させていく。

今後のさらなる学力向上に向けた改善方策について

○小中学校に向けた教育委員会から発信すること

- ・ICT機器の活用を図るための研修を実施する。
- ・今年度、全国学力・学習状況調査問題の結果を活用し、課題の見られた内容の指導例を示す。
- ・小中一貫教育の前期・中期・後期ごとの9年間の学びを見据えた「学習の手引き」の活用例を各小中学校に発信し、児童生徒の自ら学ぶ力を育てていく。
- ・多様な問い方(否定命題、説明する問題<事柄・事実、方法、手順、理由>等)を参考にし、本時の課題の質を高めていくように助言指導していく。(課題そのもの、課題提示の工夫等)